救急需要対策検討委員会資料編

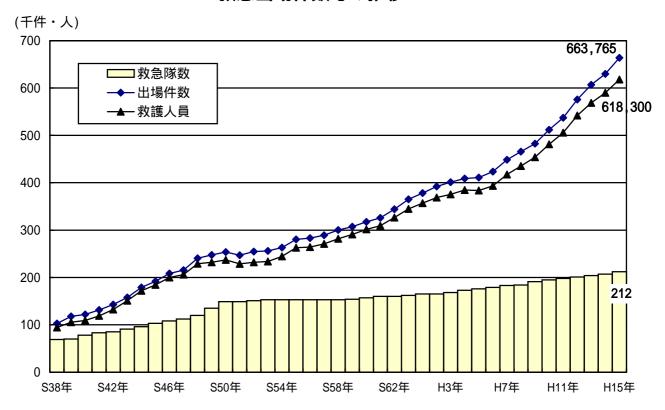
目 次

1	救急出場件数の推移、現場到着時間等の推移	8
2	事故種別・初診時程度別救急活動状況	9
3	高齢者搬送人員の推移と高齢者人口の推移	1 0
4	依頼搬送の件数と割合の推移	1 1
5	応急手当普及啓発の推進状況	1 2
6	救急車の適正な利用方法	1 3
7	関係相談窓口等電話番号一覧	1 4
8	医療施設の体系的な整備の変遷	1 5
9	要介護認定者数の推移	1 6

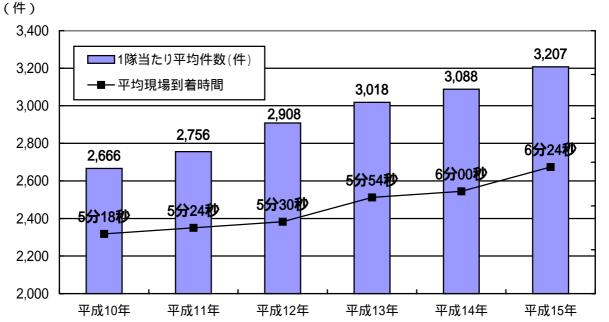
本資料編における平成15年中の数値は速報値である。

1 救急出場件数の推移、現場到着時間等の推移

救急出場件数等の推移

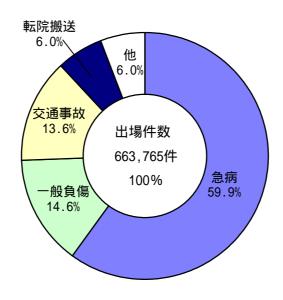


現場到着時間等の推移



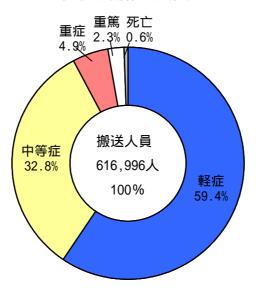
2 事故種別・初診時程度別救急活動状況(平成15年中)

救急出場件数の事故種別の内訳



事	故	種	別	急 病	一般負傷	交通事故	転院搬送	他
出	場	件	数	397,594	96,650	90,116	39,777	39,628
割			合	59.9%	14.6%	13.6%	6.0%	6.0%

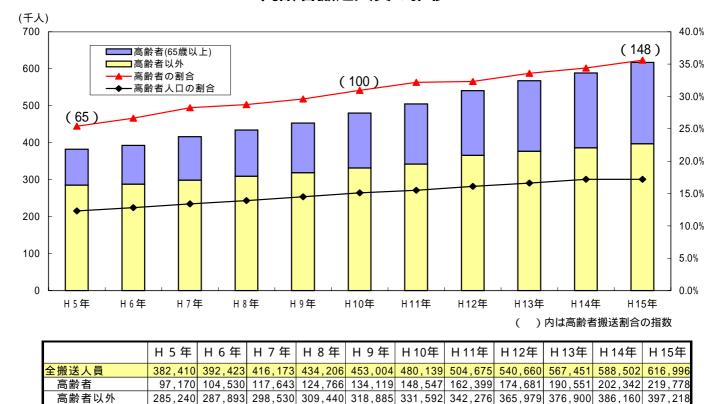
程度別搬送人員



初記	沴	寺程	度	軽	症	I	等	症	壨	症	重	篤	死	亡
搬	送	人	員	36	6,485	2	02,	245		30,529		14,034		3,703
割			合		59.4%		32	.8%		4.9%		2.3%		0.6%

3 高齢者搬送人員の推移と高齢者人口の推移

高齢者搬送人員の推移



28.7%

13.9%

30.9%

15.1%

29.6%

14.5%

32.2%

15.5%

28.3%

13.4%

25.4%

12.3%

26.6%

12.8%

高齢者の割合

高齢者人口の割合

平成15年の高齢者人口の割合は、平成15年1月現在の住民基本台帳値

33.6%

16.6%

32.3%

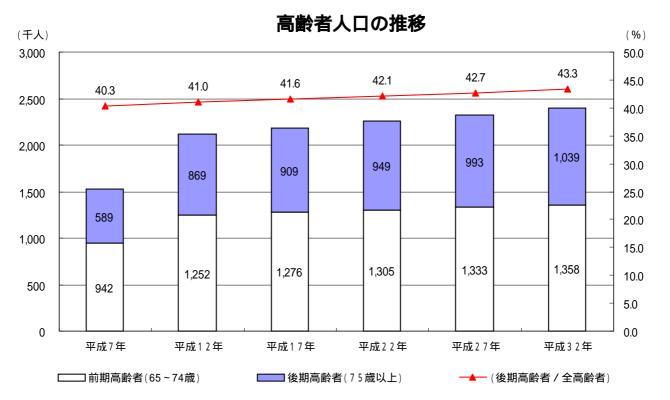
16.1%

34.4%

17.2%

35.6%

17.2%



「東京都高齢者保健福祉計画の概要」一部改変

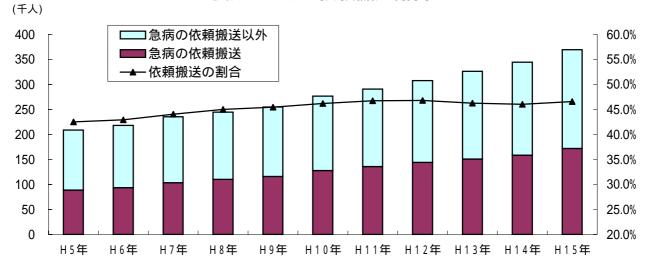
4 依頼搬送の件数と割合の推移

全搬送人員における依頼搬送割合



	H 5年	H 6年	H 7年	H 8年	H 9年	H 1 0年	H 1 1年	H 1 2年	H 1 3年	H 1 4年	H 1 5 年
全搬送人員	382,410	392,423	416,173	434,206	453,004	480,139	504,675	540,660	567,451	588,502	616,996
依 頼 搬 送	105,760	110,865	122,494	131,091	138,150	152,390	162,894	174,060	183,061	192,251	207,032
依頼搬送以外	276,650	281,558	293,679	303,115	314,854	327,749	341,781	366,600	384,390	396,251	409,964
依頼搬送の割合	27.7%	28.3%	29.4%	30.2%	30.5%	31.7%	32.3%	32.2%	32.3%	32.7%	33.6%

急病における依頼搬送割合



	H 5年	H 6年	H 7年	H 8年	H 9年	H 1 0年	H 1 1年	H 1 2年	H 1 3年	H 1 4年	H 1 5年
急病の搬送人員	208,637	218,030	235,085	244,397	254,797	276,525	290,471	307,560	326,196	344,319	369,303
急病の依頼搬送	88,667	93,570	103,498	109,930	115,766	127,704	135,700	143,868	150,821	158,408	171,889
急病の依頼搬送以外	119,970	124,460	131,587	134,467	139,031	148,821	154,771	163,692	175,375	185,911	197,414
依頼搬送の割合	42.5%	42.9%	44.0%	45.0%	45.4%	46.2%	46.7%	46.8%	46.2%	46.0%	46.5%

5 応急手当普及啓発の推進状況

各講習の開催回数と受講人員の推移 (単位:上段 回、下段 人)

	平成 10 年	平成 11 年	平成 12 年	平成 13 年	平成 14 年	平成 15 年
応急救護講習	8,230	8,168	8,146	7,933	8,029	8,460
応急救護講習	473,432	594,863	480,871	434,332	384,670	381,523
普通救命講習	3,616	4,291	4,938	5,412	5,820	5,587
百世秋叩禑白	77,495	92,917	98,452	104,006	110,802	121,820
 上 級 救 命 講 習	840	1,083	1,350	1,457	1,512	1,468
	16,311	20,162	23,332	26,943	24,889	26,017
│ │応急手当普及員講習	38	48	47	87	127	167
心心于日日及貝碑白	1,155	1,303	1,512	1,633	1,612	1,946
 応急手当指導員講習	105	87	92	72	67	82
心心于日拍导只碑白	1,219	876	1,148	876	1,005	931
現場派遣員講習	21	20	23	23	21	27
以场派追貝舑白	701	727	777	692	740	815
┃ ┃ 患者等搬送乗務員講習	6	6	6	6	9	7
本日守城区米份貝碑白	192	243	271	225	312	233
	12,856	13,703	14,602	14,990	15,585	15,798
合 計	570,505	711,091	606,363	568,707	524,030	533,285

受講対象者別普及人員の推移 (単位:人)

				平成 10 年	平成 11 年	平成 12 年	平成 13 年	平成 14 年	平成 15 年
町:	会・	自治:	会 等	157,888	181,094	148,326	163,344	107,006	119,237
事	業	所	等	105,095	114,879	111,730	100,904	85,139	80,393
学	校	関	係	90,269	94,274	107,772	111,213	77,704	89,702
消	防	寸	員	8,281	8,728	8,461	8,450	5,819	5,729
そ		の	他	208,972	312,116	230,074	184,796	248,362	238,224
É	<u></u>	計	-	570,505	711,091	606,363	568,707	524,030	533,285

6 救急車の適正な利用方法 【救命講習テキストの記載内容抜粋】

1 救急車の有効利用

救急業務とは、

傷病者生命及び身体を護るための緊急の業務です。

住民が等しく利用し得る公共の業務です。

公共性があるとはいえ、救急車の数には限りがあります。緊急に医療を受ける 必要がある傷病者が救急業務の対象であることを理解し、良識ある利用に努める 必要があります。

傷病者の状況から、緊急性がない場合には患者等搬送用自動車(有料)を利用する方法があります。

2 救急車の対象となる傷病者

救急車の対象となるのは、医療機関へ緊急に搬送する必要がある次の傷病者です。 災害により生じた事故の傷病者

屋外や公衆の出入りする場所において生じた事故の傷病者

屋内において生じた事故の傷病者で、迅速に搬送する適当な手段がない場合 生命の危険や著しく悪化するおそれのある症状を示す疾病の傷病者で、迅速に 搬送する適当な手段がない場合

7 関係相談窓口等電話番号一覧

名	称	窓		電話番号
医底线胆安力		消防庁テレフォンサー	・ビス(23区)	3212 2323(#7119)
医療機関案内		消防庁テレフォンサー	・ビス(多摩地区)	042-521-2323(#7119)
災害情報案内		消防庁テレフォンサー	・ビス(23区)	3212 2119
火古闸和采内		消防庁テレフォンサー	・ビス(多摩地区)	042-521-2119
医療機関案内(24時	計 間)	東京都保健医療情報	カンター	5272 0303
保険医療福祉相談		米尔即休姓区凉用和	679 [—]	5272 0303
医療情報サービス		外国語による相談窓[7	5285 8181
救急通訳サービス		が国品による伯談心!	-	5285 8185
		中部総合精神保健福	祉センター	3302 7711
心の電話相談		多摩総合精神保健福	祉センター	042-371-5560
		精神保健福祉センター	-	3842 0946
ふくしよろず相談		東京いきいきらいふ推	進センター	3269 4165
エイズ相談		健康局・エイズ対策係	\	3292 9090
いのちの電話相談		社会福祉法人いのち	の電話	3264 4343
〈すり相談		日本薬剤師会		3406 9140
母と子の健康相談室	<u> </u>	健康局地域保健部健	康推進課	5285 8898
心身障害者の抱えている	スホにゆる問題の知識	心身障害者福祉センケ	ター	3203 6141
心才障害省の形えている	ののりずる同庭の作政	心身障害者福祉センク	ター 多摩支所	042 573 3311
話してみなよ - 東京	「子どもネット -	子どもの権利擁護委員	員会	0120 874 374
子ども自身、子育て	の総合相談	子ども家庭支援センタ	7-(各市区町村)	5215 9063(千代田区)
子どもの精神保健相	目談室	都立梅が丘病院内		3328 1621
女性の抱える悩み札	日≐火	東京都女性相談センケ	ター(新宿)	5261 3110
女性の他んる個の作	口武火	東京都女性相談センケ	ター(立川)	042 522 4232
ひとり親家庭等の電	話相談	東京都母子寡婦福祉	協議会	5261 1341
患者の声相談窓口		健康局医療政策部医	療安全課	5320 4435
その他				
子どもの人権110番		東京法務局		3214 0424
		人権擁護委員会連合	3Z14 U4Z4	
子どもの人権110番		東京弁護士会		3503 0110
子どもの人権数済力	プリタ ー	木小开设上云	3581 2205	

これらは一例である。

3581 2205

3581 1885

5374 2990

第二東京弁護士会

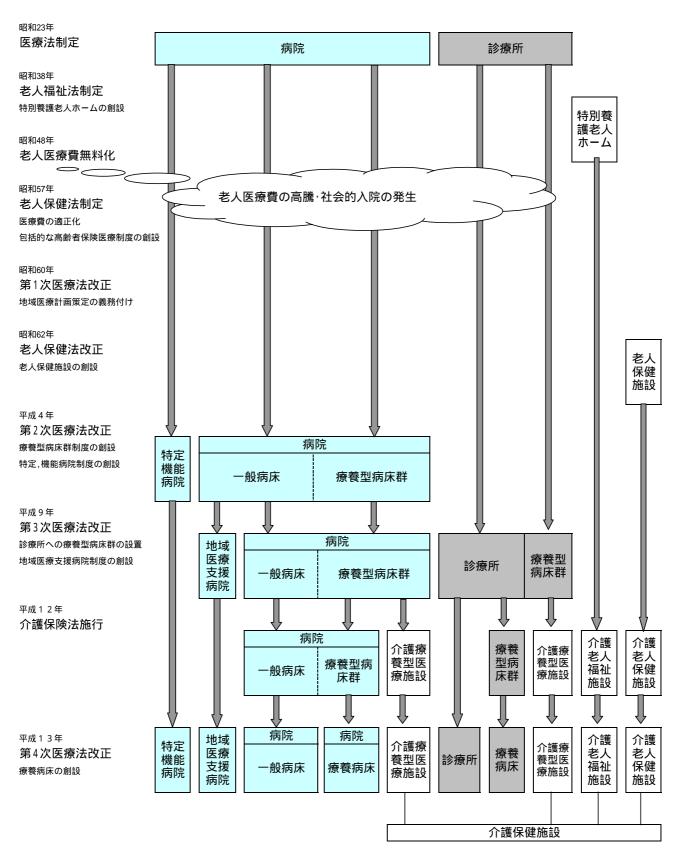
子どもの虐待防止センター

子どもの人権救済センター

子どもの悩みごと相談

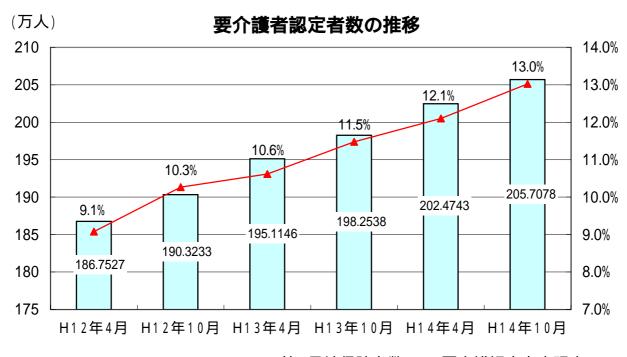
子どもの虐待110番

8 医療施設の体系的な整備の変遷

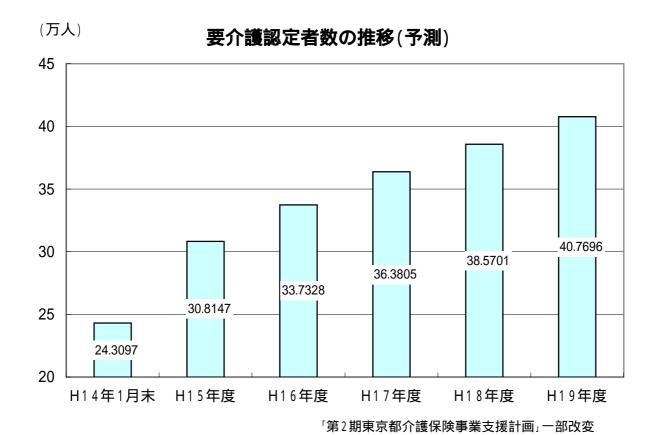


東京都保健医療計画(平成14年度改訂)

9 要介護認定者数の推移



□□ 第1号被保険者数 → 要介護認定者出現率 「第2期東京都介護保険事業支援計画」一部改変



- 16 -

救急需要対策検討委員会委員名簿

五十音順・敬称略

				五十日限。別外が門
		氏	名	役 職
		安藤	高夫	東京都医師会理事
		池上	三喜子	市民防災研究所理事
		石原	哲	白鬚橋病院院長
		川島	霞子	東京都地域婦人団体連盟会長
		斉藤	良夫	中央大学文学部心理学研究室教授
		鈴木	正弘	東京消防庁救急部長
委	員	高橋	民夫	文化放送報道部防災キャスター
		・辻	正司	東京患者搬送事業者協同組合代表理事
		・橋本	雄太郎	杏林大学総合政策学部教授
		・畠中	薫里	政策研究大学院大学政策研究科助教授
		広瀬	健二	東京都健康局医療政策部救急災害医療課長
		松田	雄二	東京都福祉局高齢者部計画課長
		山本	保博	日本医科大学救急医学主任教授

は委員長

は専門部会長、・は専門部会委員

専門部会:患者等搬送事業を効率的に運用する環境整備方策について

開催日

第 1 回 平成 15 年 11 月 27 日 第 2 回 平成 15 年 12 月 22 日 第 3 回 平成 16 年 2 月 10 日

第 4 回 平成 16 年 2 月 27 日

専門部会

第 1 回 平成 16 年 1 月 16 日 第 2 回 平成 16 年 1 月 23 日 第 3 回 平成 16 年 2 月 2 日